庭園 協会ニュース 第85号

一般社団法人 日本庭園協会

東京都新宿区西早稲田 1-6-3 フェリオ西早稲田 301
〒 169-0051　TEL:03-3204-0595（FAX 兼用）
E-mail : gsj20@m7.dion.ne.jp　URL : http://nitteikyou.org/

編集者：広報委員長・柴田 正文
委員・小沼 康子、加藤 精一、内田 均
題　字：故・上原 敬二
発行日：平成 28 年 7 月 31 日

石割神社（山中湖村）ご神体の大岩

日本庭園協会のさらなる躍進を
～庭園文化の継承と発展

高橋 康夫

先の日本庭園協会総会におきまして金子会長の後任として第14代会長に選出されました。龍居名誉会長をはじめとする会員の皆様が営々と築き上げてきた、日本で一番古い庭園の団体である当協会の重みを感じ、身の引き締まる思いでおります。私の役割は会員の皆様が心置きなく協会活動に参加して頂けるような場を作ることであり、それには皆様の声を真摯に聴くことが一番大切だと思っております。

さて、これからの庭園協会の進む道ですが、定款において示されている庭園鑑賞の充実と庭園技術の継承、発展を大きな二つの柱として積極的に事業展開を図ってまいります。さらに、新たな三本目の柱として文化財庭園の保存、修復事業を展開してまいります。会員が持っているプロとしての技量を総合的に発揮し、日本庭園の保存・復元を図り世界に冠たる日本庭園文化を次世代に伝えて行きます。そのためには、連続基礎講座や伝統庭園技塾により技を磨きあげる必要があり、人材育成を最重要課題として取り組んでまいります。

日本庭園を「鑑る力」、「造る力」、それを身につければ世界のどこへいっても日本庭園の素晴らしさを伝えることができます。また、庭園や造園に関する様々な団体と協力関係を結び、スクラムを組んで庭園文化をさらに発展させて行きたいと思います。

なお、2年後には当協会は創立一〇〇周年を迎えます。これをチャンスと捉え支部と本部が一体となって協会の全員参加で盛り上げていきましょう。庭園協会ここにありということを世に示そうではありませんか。日本文化を代表する日本庭園はまさに当協会が担っていくという心意気を示す絶好の機会です。庭園協会を生み育てた先達たちの熱い思いを十分かみしめて思いっきり行動しましょう。

庭園協会が百年近く続いた理由は、会員の皆様すべてが庭園に対する「愛」を持ち続けたからだと思います。この由緒ある庭園協会を微力ではありますが全力で支えたいと思います。龍居名誉会長をはじめ、皆様のご指導ご鞭撻を賜ることを心よりお願い申し上げます。（会長）

平成28年度

一般社団法人 日本庭園協会定期総会開く

平成28年3月23日　明治神宮　文化館

一般社団法人日本庭園協会は、平成28年3月23日（水）東京・代々木の明治神宮文化館で、午前10時半から評議員会、午後1時から総会を開催した。

【評議員会】午前10時30分。楠の間

司会＝望月敬生常務理事

評議員41名中、出席32名（委任状出席9名）。金子直作会長が挨拶に続き議長として議事進行。第一号議案「平成27年度事業報告、収支決算、会計監査報告」、第二号議案「平成28年度事業計画、予算説明」、第三号議案「役員改選の件」、その他、日本庭園協会賞・奨励賞については、時間をかけ規定を作成していく。また、協会運営について、創立100周年記念事業は、実行委員会で実行計画を進めていく。また、全国支部長連絡協議会報告、支部会費について、会員増加のための施策について、鑑賞研究委員会について、など積極的な議論が交わされ、総会において一括審議を諮るという事で可決。

【総会】　午後一時。椎の間

司会＝柴田正文常務理事

正会員481名中出席者254名（委任状出席184名）で、定款第十九条により成立。大平暁副会長の開会の辞、金子会長の挨拶、龍居名誉会長の挨拶の後、会長が議長席に着き議事録作成者に望月敬生常務理事、議事録署名者に前川冨士子理事、高橋良仁理事を指名、議事に入る。

○第一号議案「平成27年度事業報告、収支報告、会計監査報告の件」

事業報告＝廣瀬慶寛常務理事
及び、各委員長
決算報告＝高橋康夫常務理事
監査報告＝野村脩監事

1　現況（平成28年3月15日現在）

(1)事務所…〒169―0051
東京都新宿区西早稲田1―6―3
フェリオ西早稲田301号
電話…03（3204）0595
URL http//nitteikyou.org/
E-Mail gsj20@m7.dion.ne.jp

(2)会員数　正会員481名（6名増）
特別会員／名誉会員8名（2名減）
維持会員（法人会員）6社（1社増）
総会員数495名（5名増）
※カッコ内の数字は前年比

(3)本部委員会および特別委員会
（カッコ内は委員長）
①本部委員会／総務委員会（望月敬生）、財務委員会（高橋康夫）　広報委員会（柴田正文）　鑑賞研究委員会（高梨節子）　技術委員会（廣瀬慶寛）、国際活動委員会（三橋一夫）
②特別委員会／文化財指定庭園調査委員会（金子直作）　日本庭園協会賞選考委員会（金子直作）　ホームページ検討委員会（岩崎隆）　日本庭園協会創立100周年記念事業準備委員会（高橋康夫）
③支部（カッコ内は　支部長）
北海道南支部（坂勝）　宮城県支部（菊地正樹）　栃木県支部（新藤志延）　茨城県支部（飛田幸男）　埼玉県支部（野村光宏）　千葉県支部（加藤新一郎）　東京都支部（上野周三）　神奈川県支部（清水哲也）　新潟県支部（伊藤春男）　石川県支部（向川茂）　静岡県支部（石井敬明）　愛知県支部（高見紀雄）　近畿支部（山田昌次）　岡山県支部（三宅秀俊）　広島県支部（藤原忍）　鳥取県支部（石亀靖）　島根県支部（岡和生）　山口県支部（殿井正敏）　香川県支部（水本隆信）

2　事業の概要

【本部事業】

(1)総務事業　①庭園協会賞支部推薦依頼（1・8）　②全国支部長連絡協議会（1・21）　③常務理事会（2・5）　④理事会、常務理事会（2・26）　⑤定期総会（3・18）　⑥常務理事会（5・21）　⑦文化財指定庭園保護協議会（5・28）　⑧常務理事会（7・16）　⑨常務理事会（9・4）　⑩理事会（9・11）　⑪常務理事会（10・27）　⑫常務理事会（12・15）

(2)広報事業　①庭園協会ニュース79～82号発行　②GSJミニニュース25～33号発行　③広報委員会会議（3・3）東京農大

(3)鑑賞研究事業　①講演会「南禅寺界隈の庭を巡って―植治の造園技法を味わう」尼崎博正氏（3・15）日本女子大学桜風2号館　②事前勉強会㈠「中京の庭見学を前に」龍居竹之介名誉会長（5・16）日本女子大学桜風2号館　㈡「東京の庭巡りを前に」龍居竹之介名誉会長（10・15）日本女子大学桜風2号館　③見学会　㈠春季一泊見学会「中京の庭を訪ねて」（6・11～12）　㈡秋の日帰り見学会「東京の文化財庭園秋の顔をさぐる」（11・6）

(4)技術事業　①庭園技術連続基礎講座（5・31）（6・28）（7・26）（8・30）（9・27）　②伝統庭園技塾（10・11～15）宮城県　覚照寺　③鳥取県支部・本部共催講座（11・8～9）

【支部事業】

〈北海道南支部〉

(1)会議の開催　①支部総会・新年会（1月）　②本部総会（3月）　③支部役員会・支部例会（4月）　④観楓会（10月）支部役員会（12月）

(2)技術事業　①バードバスの製作（5月）　②炭窯周りの修景計画（10月）

〈宮城県支部〉

(1)会議の開催　①支部総会（1・15）　②役員会（9・23）

(2)技術事業　①伝統庭園技塾準備作業（5・3～5）②覚照寺・台風被害修復作業（9・12～14）　③伝統庭園技塾準備作業（9・21～23）　④伝統庭園技塾（10・11～15）覚照寺　⑤伝統庭園技塾準備作業（11・1～3）　⑥石の仕分け作業（11・15～16）　⑦流れの護岸及び底仕上げ（11・22～23）　⑧流れの護岸及び底仕上げ（12・12～13）

〈茨城県支部〉

(1)会議の開催　①本部評議員会・総会（3・18）　②支部総会（4・13）中川楼

(2)技術事業　①版築講習会（4・4～5）つくば市　②向上庵茶会（11・22）土浦市

(3)講習会　島根県支部・本部共催講座（11・7～8）

(4)見学会　①鑑賞研究会（6・12～13）中京　②鑑賞研究会（11・6）東京

〈埼玉県支部〉

(1)会議の開催　①役員会（1・10）岩槻　②総会・新年会（1・25）岩槻　③役員会（4・13）岩槻　④役員会（4・27）岩槻　⑤役員会（5・24）岩槻　⑥役員会（6・10）岩槻　⑦役員会（7・27）岩槻　⑧役員会（9・4）岩槻　⑨役員会（9・25）岩槻　⑩役員会（10・5）岩槻　⑪役員会（10・9）岩槻　⑫役員会（11・3）浦和　⑬役員会（11・11）岩槻　⑭忘年会（12・12）浦和

(2)技術事業　①泥深庵周辺管理（2・22）いずみ高校　②第1回研修会（5・30～31）いずみ高校　③第2回研修会（7・4～5）いずみ高校　④第3回研修会（8・22～23）いずみ高校　⑤第4回研修会（10・24～25）いずみ高校　⑥茶会準備（10・31～11・3）いずみ高校　⑦茶会（11・7～8）いずみ高校　⑧茶会片付け（12・6）いずみ高校

〈千葉県支部〉

(1)会議の開催　①役員会（4・4）　②支部総会（5・10）成田　③役員会（8・11）　④役員会（10・8）　⑤役員会（11・25）　⑥支部忘年会（12・6）鴨川ホテル三日月　⑦新春の集い（2・6）　⑧全国支部長連絡協議会2・12～14）　⑨本部総会（3・23）

(2)技術事業　①時田家住宅現地調査（5・18）習志野市　②クスノキ移動見学（6・29）羽田空港稲荷神社　③時田家住宅の水琴窟、つくばい改修工事（2・15～16）

(3)その他　①緑のネットワークと都市緑化のための街路樹のあり方に関するシンポジウム（9・29）千葉大学大学院・藤井英二郎教授　②支部秋季セミナー「人と親しむ　庭を楽しむ」龍居竹之介名誉会長、正田裕之小石川後楽園前センター長

〈東京都支部〉

(1)会議の開催　①新年会・幹事会（1・31）　②幹事会（5・29）　③幹事会（6・27）　④幹事会（7・19）　⑤支部総会・見学会（9・6）　⑥幹事会（10・15）　⑦納会（11・22）

(2)講習会　「庭園デザインの基礎知識」ガイダンス（11・22）講師：榊原八朗氏

〈神奈川県支部〉

(1)見学会　①支部会員作庭の見学会（4回に分け実施）　②茅山荘見学会・金綱重治氏作庭

〈新潟県支部〉

(1)会議の開催　①役員会・支部総会（3・8）　万代市民会館　②緊急役員会（6・19）白根学習館　③役員会・納涼会（8・21）　④忘年会・見学会・役員会（11・28～29）

(2)技術事業「伝統庭園技塾」高木剪定講習会（7・14～16）石泉荘

(3)見学会　県外研修（9・23～24）金沢方面

(4)田中泰阿弥研究会　①手紙を読む会第15回-5（1・10）　②手紙を読む会第15回-6（2・7）　③20周年記念研修会（6・27～28）清水園、

石泉荘、渡邊邸、北方文化博物館

〈石川県支部〉

⑴**会議の開催**　①支部総会・全国支部長連絡協議会（1・21）白鳥路ホテル　②本部総会（3・18）　③祝賀会（7・25）本田顧問・日本庭園協会賞

⑵**研修会**　①庭園見学会（6・28）能登地方庭園巡り　②新潟県支部共同研修会（9・24）彩の庭ホテル　③お茶の作法講習会（10・18）好古庵

〈静岡県支部〉

⑴**会議の開催**　①支部役員会（1・6）　②全国支部長連絡協議会（1・21）金沢　③支部総会・研修旅行（3・7、8）金沢　④本部総会（3・18）　⑤役員会（8・23）

⑵**技術事業**　①庭園研修・編み笠門㈠「門の説明、柱の手斧掛け」（3・1）　②編み笠門の図面検討（3・22）　③庭園研修・編み笠門㈡「柱の手斧掛け」（4・12）　④庭園研修・編み笠門㈢「柱の手斧掛け、墨入れ」（5・10）　⑤庭園研修・編み笠門㈣「墨入れ、ほぞ」（6・14）　⑥庭園研修・編み笠門㈤「ほぞ」（7・12）　⑦庭園研修・編み笠門㈥「ほぞ」（9・6）

〈愛知県支部〉

⑴**会議の開催**　支部総会（2・21）安城市

⑵**技術事業**　①第6回石積み講座㈠（3・7～8）おしゃ楽　②名古屋市ガーデンコンテスト（3・25～29）栄オアシス21　③第6回石積み技能講座㈡（4・18～19）おしゃ楽　④全国都市緑化あいちフェア（9・12～11・8）愛・地球博記念公園モリコロパーク　⑤石積み講座in東京（10月）　⑥第7回石積み講座㈠（11・14～15）おしゃ楽　⑦第7回石積み講座㈡（1・30～31）おしゃ楽

〈近畿支部〉

⑴**会議の開催**　①支部総会（4・17）京都東急ホテル　②役員会（8・6）京都東急ホテル

〈岡山県支部〉

⑴**会議の開催**　①支部総会（1・19）倉敷市　②本部総会（3・18）　③役員会（11・25）岡山市

⑵**技術事業**　①少林寺庭園測量（3・15）岡山市　②少林寺庭園測量（4・12）岡山市　③少林寺庭園測量（5・17）岡山市

⑶**講習会**　鳥取県支部・本部共催講座（11・7～8）

〈広島県支部〉

⑴**会議の開催**　①支部総会（3・7）　②本部総会（3・18）

⑵**講習会**　鳥取県支部・本部共催講座（11・7～8）

〈鳥取県支部〉

⑴**会議の開催**　支部総会（4・19）石亀芳樹園

⑵**講習会**　鳥取県支部・本部共催講座（11・7～8）

〈山口県支部〉

⑴**会議の開催**　①全国支部長連絡協議会（1・21）金沢　②幹事会（3月）　③本部評議員会・総会（3・18）　④幹事会（3・21）　⑤祝賀会（4・25）森和義氏・日本庭園協会賞、坂本利男氏・奨励賞　⑥幹事会（5・23）　⑦支部総会（6・20）役員改選

⑵**講習会**　鳥取県支部・本部共催講座（11・7～8）

〈香川県支部〉

⑴**会議の開催**　①支部総会（5・15）　②役員会（11・15）　③役員会（1・25）

⑵**技術事業**　技術研修会（9・10・11月各最終土日）

⑶**見学会**　善通寺フラワー&ガーデンフェスタ（5・15～16）

以上の報告に続いて決算報告と監査報告が行われた結果、満場異議なく了承、第一号議案は可決した。

○第二号議案「平成28年度事業計画、予算説明」

計画説明＝廣瀬慶寛常務理事
及び、各委員長
予算説明＝高橋康夫常務理事

平成28年度事業計画の概要

【本部事業】

⑴**総務事業**　①「一般社団法人」移行のために、金子会長、大平副会長、青木副会長に二期務めて頂いたが、今年度から新たな会長、副会長のもとで、活動を継承し、充実させたい。そのためには、理事、評議員に関しても、現在より若い方達の積極的な参加を促し、その意見を取り入れる。同時に新会員の増加を更に前向きに進めるような具体策を検討していきたい。継続事業としての鑑賞研究委員会の活動も充実し、また庭園技術連続基礎講座も定着した活動として発展させていきたい。　②庭園協会本部事業と支部活動において、若い世代の参加をより促すような具体的な対策を検討したい。　③国際活動委員会の北米日本庭園協会（NAJGA）への参加や、昨年のインドネシアへの視察など、海外との交流会も増える傾向にあり、前向きに対応したい。　④本部と支部の共催活動がとても充実してきたので、これを継続することが重要と考える。また全国支部長連絡協議会と本部の関係を大切にする。　⑤日本庭園協会賞、奨励賞の選定はとても難しい問題があり、今年度各支部の意見も取り入れて十分検討し、選定規約を決定する。　⑥「東日本大震災復興記念庭園築庭事業」は、昨年度海外の方々の参加もあり、その築庭意義がより広く理解されている。本部もより一層の協力をしていく方針とする。　⑦日本庭園協会創立100周年記念事業は、より具体的な検討に向けて、各委員会の活動を促す。

⑵**広報事業**　①広報委員会会議の開催（適宜開催予定）②庭園協会ニュースの発行・年間4回（1・3・7・11月）＊第83号（1・31発行済）　②GSJミニニュースの発行・全会員へのはがき通信（事業計画に従い随時発行）　③ホームページを利用しての広報活動を重点的に考える　④協会パンフレットの発行A4・4Pカラー印刷　⑤創立100周年記念誌発行準備を広報委員の他に4名加え8名で構成し、記念誌出版委員会にて準備を進めていく。

⑶**鑑賞研究事業**　①講演会「日本庭園から学ぶ日本人の心と癒しー今こそ求められるジャパノロジー」龍居竹之介名誉会長（4・17）日本女子大学桜楓2号館　②見学会＊必要に応じて、事前勉強会などを行う予定㈠春季一泊見学会（6～7月）四国地方を予定　㈡秋季日帰り見学会（11月）

⑷**技術事業**　①庭園技術連続基礎講座（5～9月の最終日曜日）　②伝統庭園技塾（10・11～15）「東日本大震災復興記念庭園築庭事業」覚照寺　③島根県支部・本部共催講座（時期・詳細未定）

【支部事業】

〈北海道南支部〉

⑴**会議の開催**　①支部総会・懇親会（1月）　②役員会（4月）　③観楓会（10月）　④役員会（12月）

⑵**技術事業**　①炭窯周りの修景（6月）　②炭窯周りの修景（7月）　③炭窯周りの修景（9月）

⑶**見学会**　①庭園見学会（5～10月）青森方面　②研修旅行検討（29年1月）

〈宮城県支部〉

⑴**会議の開催**　①支部総会・講習会（内田均氏）・新年会（1・10）パレスへいあん　②役員会（必要に応じて開催）

⑵**技術事業**「伝統庭園技塾」①庭園入り口石積み（2・4～7）　②準備作業打合せ（3・5）　③準備作業＊流れの護岸仕上げ（3・20～21）　④準備作業＊流れの護岸の石組みについて（5・3～5）　⑤準備作業＊流れの護岸の石組みについて（7・17～18）　⑥準備作業＊流れの護岸の石組みについて（8・14～15）　⑦準備作業＊流れの護岸の石組みについて（9・24）　⑧準備作業（10・7）　⑨伝統庭園技塾（10・11～15）覚照寺　⑩次年度の下準備（11月～）

〈茨城県支部〉

⑴**会議の開催**　①支部総会（3・3）中川楼　②本部評議員会・総会（3・23）　③役員会（4月）　④役員会（10月）　⑤役員会（12月）＊反省会及び今後の事業計画

⑵**技術事業**　版築講習会（4・2～3）つくば市

⑶**その他**　①茨城の庭・写真展（2・26～3・3）水戸市常陽藝文センター　②本部鑑賞会や他支部の事業にも積極的に参加

〈埼玉県支部〉

⑴**会議の開催**　①支部総会・新年会（1・24）　②作品発表会（12・4）

⑵**技術事業**　①第1回研修会（5・28）浦和　②第2回研修会（6月）

⑶**見学会**　研修旅行（10月）

⑷**その他**　建築士会との交流イベント（9月）

〈千葉県支部〉

⑴**会議の開催**　①役員会（4月上旬）　②支部総会（4月下旬）　③暑気払い（8月）後期支部活動の検討　④忘年会（12月）　⑤支部新年会（1月下旬）　⑥全国支部長連絡協議会（2月）千葉県支部　⑥本部総会（3月）

⑵**技術事業**　講演会（6月）

⑶**見学会**　庭園見学会（11月）

〈東京都支部〉

⑴**会議の開催**　①新年会・幹事会

平成28年度総会であいさつする龍居名誉会長

総会の議事に耳を傾ける出席者たち

（1・24）②幹事会（3・13）③支部総会・勉強会（4・24）④幹事会（6・12）⑤納会（11月）

⑵講習会　「庭園デザインの基礎知識」講師：榊原八朗氏　①植栽のデザイン（1・24）②石組みと築山のデザイン（2・14）③滝組のデザイン（3・13）④池と流れのデザイン（4・10）⑤飛石と園路のデザイン（5・15）⑥蹲踞のデザイン（6・12）

⑶支部・本部共同活動　①佐野家住宅庭園・記録保存委託業務（2・22～24）②小石川後楽園・唐門及び周辺整備（2ヵ年）③畠山記念館・庭園整備計画（4ヵ年）

〈神奈川県支部〉

⑴技術事業　総世寺本堂裏の作庭計画（本年度測量、図面作成によるプレゼン）＊実技講習を思案中

⑵見学会　岡田美術館・岩城作庭（日程調整中）箱根町

〈新潟県支部〉

⑴技術事業　①支部主催「第22回伝統庭技塾」（日時・場所・内容未定）②支部勉強会　㈠県外研修会、㈡県内研修会、㈢企画展、㈣田中泰阿弥研究会・実測調査（各未定）

〈石川県支部〉

⑴講習会　金沢仕様のアカマツ剪定講習会（7・2～3）いこいの村

⑵研修会　県内庭園巡り視察研修会（10月頃）口能登、中能登方面

⑶その他　本部開催行事、鑑賞会等

〈静岡県支部〉

⑴会議の開催　支部総会（2・21）

⑵技術事業　編笠門の製作（2年目）

⑶視察研修　会員の提案希望で随時

〈愛知県支部〉

⑴会議の開催　支部総会（2・6）刈谷市

⑵技術事業　①桂垣の実演講習会・鬼瓦工場見学（2・21）碧南市　②第6回石積み講座　㈠（5・21、22）おしゃ楽　③「泥コンを触ってみよう」土塀の設計、製作（6月）豊田市

⑶その他　①岡田憲久先生と語る会（3・9）景観設計室タブラ・ラサ　②フラリエみらい花フェスタガーデンコンテスト（4・15～17）久屋大通庭園フラリエ

〈近畿支部〉

⑴会議の開催　①支部総会（4月上旬）京都東急ホテル　②役員会、必要に応じて随時

⑵見学会　京都市内及び近辺、文化財庭園研修

⑶その他　必要に応じて随時

〈岡山県支部〉

⑴会議の開催　①支部総会（1・18）②役員会（1・29）③役員会（2・7）④全国支部長連絡協議会（2・13）⑤役員会（2・16）岡山市

〈広島県支部〉

⑴会議の開催　①支部総会（2・7）

⑵見学会　（時期未定）

〈島根県支部〉

⑴会議の開催　支部総会（未定）石亀芳樹園

⑵その他　他支部と交流・情報交換

〈山口県支部〉

⑴会議の開催　①全国支部長連絡協議会（2・13）②本部評議員会・総会3月）③幹事会・支部総会（5月）

⑵研修会　①支部会員の庭見学会（9～10月）②島根県支部・本部共催講座　③支部研修会（11月）

〈香川県支部〉

⑴会議の開催　支部総会（5月）

⑵技術事業　庭園技術講習会（未定）

⑶見学会　庭園見学会（未定）

以上の報告に続いて、平成28年度収支予算案の報告が行われた結果、満場異議なく了承、第二号議案は可決した。

○第三号議案「役員改選の件」

趣旨説明＝望月敬生常務理事

会長、副会長の任期が27年度で、2期目が終了した。役員の80歳以下の年齢制限のため退任。

新役員　高橋康夫会長、菊池正樹副会長、鈴木悦子副会長、藤枝修子理事（常務理事代行）、福田光子理事、金子直作顧問、大平暁名誉会員、青木美樹子名誉会員、前川冨士子名誉会員。

新評議員　豊藏均、加藤精一、星宏海、菊池正芳、北村均、田中徳夫、若杉松男、石川治壱、粟野隆、村田義雄、小泉隆一、横山英悦

第三号議案は、審議の結果、原案のとおり承認された。

○第四号議案「総会議決事項の委任の件」

趣旨説明＝金子直作会長

総会議決事項の、常務理事会への委任が可決された。平成28年度事業計画・収支予算の補正及び特別会計・役員改選に関する件。その他、日本庭園協会賞の選考規定作成、創立100周年記念事業の件。

平成28年度一般社団法人日本庭園協会定期総会は、青木美樹子副会長の閉会の辞で、無事終了した。引き続き会場を移して、懇親会が開かれた。

平成27年度収支計算書

平成27年1月1日から平成27年12月31日まで

（単位：円）

科　目	予算額	本年度決算額	増　減
Ⅰ　事業活動収支の部			
1．事業活動収入			
①入会金収入			
入会金収入	125,000	150,000	△ 25,000
②会費収入			
受取会費	6,000,000	6,191,000	△ 191,000
③事業収益			
連続講座収入	525,000	540,000	△ 15,000
伝統庭園技塾	0	300,000	
鑑賞研究講演会	270,000	291,000	△ 21,000
鑑賞研究見学会	1,600,000	1,409,800	190,200
庭園協会賞講演会	500,000	576,000	△ 76,000
機関誌「庭園」売益		23,648	
④受取寄付金			
受取寄付金		10,000	△ 10,000
⑤雑収益			
受取利息	30,000	164	29,836
2．事業活動支出　雑収益	0	84,226	
事業活動収入計	9,050,000	9,575,838	△ 525,838
1 事業費支出	4,615,000	3,933,693	681,307
1-1　広報委員会費	1,000,000	1,049,073	△ 49,073
1-1-1　会報発行印刷配布費	800,000	949,073	△ 149,073
1-1-1-1　会報印刷費	450,000	558,069	△ 108,069
1-1-1-2　会報郵送料	350,000	391,004	△ 41,004
1-1-2　会報取材編集費	100,000	100,000	0
1-1-3　「庭園」発行費	0	0	0
1-1-4　協会パンフレット作成費	100,000	0	100,000
1-2　鑑賞研究委員会費	1,870,000	1,683,401	186,599
1-2-1　鑑賞研究講演会費	270,000	286,661	△ 16,661
1-2-2　鑑賞研究見学会	1,600,000	1,396,740	203,260
1-3　技術委員会費	1,107,000	1,117,213	△ 10,213
1-3-1　連続講座費	525,000	439,313	85,687
1-3-1-1　講師謝礼	150,000	150,000	0
1-3-1-2　講師旅費交通費	215,000	63,000	152,000
1-3-1-3　事務・会場手伝い謝礼	100,000	75,000	25,000
1-3-1-4　講座会場費	50,000	147,000	△ 97,000
1-3-1-5　講座用事務・消耗品費	10,000	4,313	5,687
1-3-2　地方講演会費	220,000	177,400	42,600
1-3-2-1　講師謝礼	40,000	20,000	20,000
1-3-2-2　講師旅費交通費	180,000	157,400	22,600
1-3-3　伝統庭園技塾（仙台）	240,000	392,500	△ 152,500
1-3-3-1　講師謝礼	120,000	190,000	△ 70,000
1-3-3-2　講師旅費交通費	120,000	202,500	△ 82,500
1-3-3-3　東日本大震災復興記念庭園築庭助成金	0	0	0
1-3-4　文化財指定庭園調査会費	122,000	108,000	14,000
1-3-4-1　文化財指定庭園保護協議会年会費	10,000	10,000	0
1-3-4-2　文庭協総会負担金	112,000	98,000	14,000
1-4　国際活動委員会費	138,000	84,006	53,994
1-4-2　本部会議時国際委員交通費補助	96,000	0	96,000
1-4-3　NAJGA 年会費 (350 ドル)	42,000	45,000	△ 3,000
1-4-4　国際交流費 (NAJGA 調印式参加費)	0	39,006	△ 39,006
1-5　100 周年記念事業積立金	500,000	0	500,000
2　管理費支出	4,863,000	4,876,858	△ 13,858
2-1　定期総会費	700,000	930,692	△ 230,692
2-1-1　通信運搬費 (出欠葉書・荷物運搬)	70,000	52,000	18,000
2-1-2　総会用事務・消耗品費	15,000	23,760	△ 8,760
2-1-3　総会資料印刷	15,000	0	15,000
2-1-4　庭園協会賞講演会費	600,000	854,932	△ 254,932
2-2　本部諸会議費	197,000	110,429	86,571
2-2-1　通信運搬費（出欠葉書・荷物運搬）	10,000	0	10,000
2-2-2　会議時飲食代	100,000	80,680	19,320
2-2-3　会議用資料コピー代	3,000	0	3,000
2-2-4　会場代	20,000	15,500	4,500
2-2-5　地方役員交通費補助	14,000	0	14,000
2-2-6　常務理事会会議費	50,000	14,249	35,751
2-3　支部委員会費	60,000	0	60,000
2-3-1　支部長会交通費	60,000	0	60,000
2-3-2　支部長会会場代	0	0	0
2-4　事務局職員給料	1,000,000	987,275	12,725
2-5　事務局職員交通費	240,000	188,625	51,375
2-6　ホームページ運営管理費	125,000	199,562	△ 74,562
2-7　渉外慶弔祝賀費	200,000	157,761	42,239
2-7-1　渉外費（関係団体賛助金、接待費）	60,000	101,561	△ 41,561
2-7-2　慶弔費	60,000	26,200	33,800
2-7-2　支部活動お祝い金	80,000	30,000	50,000
2-8　本部役員地方出張旅費交通費	100,000	80,950	19,050
2-9　通信費	220,000	389,833	△ 169,833
2-9-1　郵便・配送費	150,000	302,072	△ 152,072
2-9-2　電話料	70,000	87,761	△ 17,761
2-10　事務用品・消耗品費	300,000	279,759	20,241
2-11　宣伝広告費	110,000	86,400	23,600
2-12　光熱費	55,000	51,194	3,806
2-13　賃借料	1,102,400	1,102,116	284
2-13-1　事務所家賃	926,000	925,716	284
2-13-1　コピー機リース料	176,400	176,400	0
2-14　租税公課費	70,000	0	70,000
2-15　銀行手数料等	90,000	73,332	16,668
2-16　顧問料	284,000	228,800	55,200
会計事務所顧問料	164,000	164,000	0
法律事務所顧問料	120,000	64,800	55,200
2-17　諸雑費	10,000	10,130	△ 130

（単位：円）

科　目	予算額	前年度予算額	増　減
経常費用計	9,478,000	8,810,551	667,449
当期経常増減額	△ 428,000	765,287	
当期一般正味財産増減額	△ 428,000	765,287	
一般正味財産期首残高		967,375	
一般正味財産期末残高		1,732,662	
Ⅱ　正味財産期末残高	-428,000	1,732,662	

収支計算書に対する注記

1．資金の範囲

資金の範囲には、現金及び預金、未収会費、立替金及び未払金、前受会費、仮受金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2．に記載するとおりである。

2．次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

（単位：円）

科　目	前期末残高	当期末残高
現金及び預金	2,675,920	2,180,197
未収会費	39,000	109,000
前払金	77,143	77,143
仮払金	0	40,800
貯蔵品	414,000	393,000
合　計	3,206,063	2,800,140
未払金	792,103	122,848
源泉所得税預り金	33,585	21,630
震災復興庭園寄付預り金	1,413,000	923,000
合　計	2,238,688	1,067,478
次期繰越収支差額	967,375	1,732,662

貸借対照表

平成27年12月31日現在

（単位：円）

科　目	金　額	科　目	金　額
Ⅰ　資産の部		Ⅱ　負債の部	
1．流動資産		1．流動負債	
現金	20,402	未払金	122,848
普通預金	266,383	震災復興庭園寄附預り金	923,000
振替預金	866,860	源泉所得税預り金	21,630
通常預金	85,154		
震災寄付預金	941,398	流動負債合計	1,067,478
未収会費	109,000	負債合計	1,067,478
前払金			
仮払金	40,800	Ⅲ　正味財産の部	
貯蔵品	393,000	1．一般正味財産	1,732,662
流動資産合計	2,722,997	正味財産合計	1,732,662
資産合計	2,800,140	負債及び正味財産合計	2,800,140

財産目録

平成27年12月31日現在

（単位：円）

科　目	金　額
Ⅰ　資産の部	
1．流動資産	
現金預金	
現金手許有高	20,402
普通預金　みずほ銀行　江戸川橋支店　1716382	265,383
普通預金　みずほ銀行	1,000
振替預金　ゆうちょ銀行　＃00110-5-76081	866,860
通常預金　ゆうちょ銀行　＃10040-50368701	85,154
震災寄付預金　ゆうちょ銀行	941,398
未収会費　入会金@5,000×1 名	5,000
年会費@13,000×8 名	104,000
前払金　家賃前払	77,143
仮払金	40,800
貯蔵品「日本の庭を彩る」38 冊／「庭園」復刊 10 号 300 冊	393,000
資産合計	2,800,140
Ⅱ　負債の部	
1．流動負債	
未払金※	122,848
震災復興庭園寄付預り金	923,000
源泉所得税預り金	21,630
負債合計	1,067,478
Ⅲ　正味財産	1,732,662

※未払金内訳

虎ノ門総合法律事務 (税務)7 ～ 12 月分	74,248
ウェブサイト管理費 10 ～ 12 月分	48,600
	122,848

監査報告書

下記監事3名は、一般社団法人日本庭園協会 において、会長の提出した平成 27 年度における会務の執行を総括した会費収入の「事業活動支出」の内訳並びに「収支計算書」「正味財産増減計算書」「貸借対照表及び財産目録」等につき監査した。

監査の結果、会務の執行は当該協会の定款に基づき誠実に行なわれており、正確に処理されていることをみとめます。

平成 28 年　3 月　8 日

一般社団法人　日本庭園協会

監事　野村 脩／同　大成 白歩／同　高梨 節子

正味財産増減計算書

平成 27 年 1 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日まで

（単位：円）

科目		予算額	本年度決算額	増減
Ⅰ　一般正味財産増減の部				
1，経常増減の部				
（1）経常収益				
①入会金収入　入会金収入		125,000	150,000	△ 25,000
②会費収入　受取会費		6,000,000	6,191,000	△ 191,000
③事業収益　連続講座収入		525,000	540,000	△ 15,000
伝統庭園技塾		0	300,000	
鑑賞研究講演会		270,000	291,000	△ 21,000
鑑賞研究見学会		1,600,000	1,409,800	190,200
庭園協会賞講演会		500,000	576,000	△ 76,000
機関誌「庭園」売益			23,648	
④受取寄付金　受取寄付金			10,000	△ 10,000
⑤雑収益　受取利息		30,000	164	29,836
雑収益		0	84,226	
事業活動収入計		9,050,000	9,575,838	△ 525,838
（2）経常費用				
①事業費		4,615,000	3,933,693	681,307
1-1	広報委員会費	1,000,000	1,049,073	△ 49,073
1-1-1	会報発行印刷配布費	800,000	949,073	△ 149,073
1-1-1-1	会報印刷費	450,000	558,069	△ 108,069
1-1-1-2	会報郵送料	350,000	391,004	△ 41,004
1-1-2	会報取材編集費	100,000	100,000	0
1-1-3	「庭園」発行費	0	0	0
1-1-4	協会パンフレット作成費	100,000	0	100,000
1-2	鑑賞研究委員会費	1,870,000	1,683,401	186,599
1-2-1	鑑賞研究講演会費	270,000	286,661	△ 16,661
1-2-2	鑑賞研究見学会	1,600,000	1,396,740	203,260
1-3	技術委員会費	1,107,000	1,117,213	△ 10,213
1-3-1	連続講座費	525,000	439,313	85,687
1-3-1-1	講師謝礼	150,000	150,000	0
1-3-1-2	講師旅費交通費	215,000	63,000	152,000
1-3-1-3	事務・会場手伝い謝礼	100,000	75,000	25,000
1-3-1-4	講座会場費	50,000	147,000	△ 97,000
1-3-1-5	講座用事務・消耗品費	10,000	4,313	5,687
1-3-2	地方講演会費	220,000	177,400	42,600
1-3-2-1	講師謝礼	40,000	20,000	20,000
1-3-2-2	講師旅費交通費	180,000	157,400	22,600
1-3-3	伝統庭園技塾（仙台）	240,000	392,500	△ 152,500
1-3-3-1	講師謝礼	120,000	190,000	△ 70,000
1-3-3-2	講師旅費交通費	120,000	202,500	△ 82,500
1-3-3-3	東日本大震災復興記念庭園築庭助成金	0	0	0
1-3-4	文化財指定庭園調査会費	122,000	108,000	14,000
1-3-4-1	文化財指定庭園保護協議会年会費	10,000	10,000	0
1-3-4-2	文庭協総会負担金	112,000	98,000	14,000
1-4	国際活動委員会費	138,000	84,006	53,994
1-4-2	本部会議時国際委員交通費補助	96,000	0	96,000
1-4-3	NAJGA 年会費	42,000	45,000	△ 3,000
1-4-4	国際交流費	0	39,006	△ 39,006
1-5	100 周年記念事業積立金	500,000	0	500,000
②管理費		4,863,000	4,876,858	△ 13,858
2-1	定期総会費	700,000	930,692	△ 230,692
2-1-1	通信運搬費（出欠葉書・荷物運搬）	70,000	52,000	18,000
2-1-2	総会用事務・消耗品費	15,000	23,760	△ 8,760
2-1-3	総会資料印刷	15,000	0	15,000
2-1-4	庭園協会賞講演会費	600,000	854,932	△ 254,932
2-2	本部諸会議費	197,000	110,429	86,571
2-2-1	通信運搬費（出欠葉書・荷物運搬）	10,000	0	10,000
2-2-2	会議時飲食代	100,000	80,680	19,320
2-2-3	会議用資料コピー代	3,000	0	3,000
2-2-4	会場代	20,000	15,500	4,500
2-2-5	地方役員交通費補助	14,000	0	14,000
2-2-6	常務理事会会議費	50,000	14,249	35,751
2-3	支部委員会費	60,000	0	60,000
2-3-1	支部長会交通費半額補助	60,000	0	60,000
2-3-2	支部長会会場代	0	0	0
2-4	事務局職員給料	1,000,000	987,275	12,725
2-5	事務局職員交通費	240,000	188,625	51,375
2-6	ホームページ運営管理費	125,000	199,562	△ 74,562
2-7	渉外慶弔祝賀費	200,000	157,761	42,239
2-7-1	渉外費（関係団体賛助金、接待費）	60,000	101,561	△ 41,561
2-7-2	慶弔費	60,000	26,200	33,800
2-7-2	支部活動お祝い金	80,000	30,000	50,000
2-8	本部役員地方出張旅費交通費	100,000	80,950	19,050
2-9	通信費	220,000	389,833	△ 169,833
2-9-1	郵便・配送費	150,000	302,072	△ 152,072
2-9-2	電話料	70,000	87,761	△ 17,761
2-10	事務用品・消耗品費	300,000	279,759	20,241
2-11	宣伝広告費	110,000	86,400	23,600
2-12	光熱費	55,000	51,194	3,806
2-13	賃借料	1,102,400	1,102,116	284
2-13-1	事務所家賃	926,000	925,716	284
2-13-1	コピー機リース料	176,400	176,400	0
2-14	租税公課費	70,000	0	70,000
2-15	銀行手数料等	90,000	73,332	16,668
2-16	顧問料	284,000	228,800	55,200
	会計事務所顧問料	164,000	164,000	0
	法律事務所顧問料	120,000	64,800	55,200
2-17	諸雑費	10,000	10,130	△ 130
経常費用計		9,478,000	8,810,551	667,449
当期経常増減額		△ 428,000	765,287	
当期一般正味財産増減額		△ 428,000	765,287	
一般正味財産期首残高			967,375	
一般正味財産期末残高			1,732,662	
Ⅱ 正味財産期末残高		-428,000	1,732,662	

平成 28 年度収支予算書

平成 28 年 1 月 1 日から平成 28 年 12 月 31 日まで

（単位：円）

科目		27 年度決算額	27 年度予算額	28 年度予算
Ⅰ　事業活動収支の部				
1，事業活動収入				
①入会金収入　入会金収入		150,000	125,000	145,000
②会費収入　受取会費		6,191,000	6,000,000	6,000,000
③事業収益　連続講座収入		540,000	525,000	600,000
伝統庭園技塾		300,000	0	600,000
鑑賞研究講演会		291,000	270,000	250,000
鑑賞研究見学会		1,409,800	1,600,000	2,000,000
総会時懇親会		576,000	500,000	500,000
受託事業費　★新規		0	0	1,500,000
④雑収益　広告収入　★新規		0	0	100,000
受取利息ほか		118,038	30,000	30,000
事業活動収入計		9,575,838	9,050,000	11,725,000
2，事業活動支出				
1 事業費支出		1,049,073	1,000,000	1,100,000
1-1	広報委員会費	949,073	800,000	800,000
1-1-1	会報発行印刷配布費	558,069	450,000	450,000
1-1-1-1	会報印刷費	391,004	350,000	350,000
1-1-1-2	会報郵送料	100,000	100,000	100,000
1-1-2	会報取材編集費	0	0	0
1-1-3	「庭園」発行費	0	100,000	200,000
1-1-4	協会パンフレット作成費	1,683,401	1,870,000	1,870,000
1-2	鑑賞研究委員会費	286,661	270,000	270,000
1-2-1	鑑賞研究講演会費	1,396,740	1,600,000	1,600,000
1-2-2	鑑賞研究見学会			
1-3	技術委員会費	1,117,213	1,107,000	1,707,000
1-3-1	連続講座費	439,313	525,000	525,000
1-3-1-1	講師謝礼	150,000	150,000	150,000
1-3-1-2	講師旅費交通費	63,000	215,000	215,000
1-3-1-3	事務・会場手伝い謝礼	75,000	100,000	100,000
1-3-1-4	講座会場費	147,000	50,000	50,000
1-3-1-5	講座用事務・消耗品費	4,313	10,000	10,000
1-3-2	地方講演会費	177,400	220,000	220,000
1-3-2-1	講師謝礼	20,000	40,000	40,000
1-3-2-2	講師旅費交通費	157,400	180,000	180,000
1-3-3	伝統庭園技塾（仙台）	392,500	240,000	840,000
1-3-3-1	講師謝礼	190,000	120,000	120,000
1-3-3-2	講師旅費交通費	202,500	120,000	120,000
1-3-3-3	東日本大震災復興記念庭園築庭助成金	0	0	600,000
1-3-4	文化財指定庭園調査会費	108,000	122,000	122,000
1-3-4-1	文化財指定庭園保護協議会年会費	10,000	10,000	10,000
1-3-4-2	文庭協総会負担金	98,000	112,000	112,000
1-4	国際活動委員会費	84,006	138,000	138,000
1-4-2	本部会議時国際委員交通費補助	0	96,000	96,000
1-4-3	NAJGA 年会費	45,000	42,000	42,000
1-4-4	国際交流費（NAJGA 調印式参加費）	39,006	0	0
1-5	文化財指定庭園調査・修復費　★新規	0	0	1,350,000
1-6	100 周年記念事業積立金	0	500,000	1,000,000
2　管理費支出				
2-1	定期総会費	4,876,858	4,863,000	4,975,259
2-1-1	通信運搬費（出欠葉書・荷物運搬）	930,692	700,000	700,000
2-1-2	総会用事務・消耗品費	52,000	70,000	70,000
2-1-3	総会資料印刷	23,760	15,000	15,000
2-1-4	庭園協会賞講演会費	0	15,000	15,000
2-2	本部諸会議費	854,932	600,000	600,000
2-2-1	通信運搬費（出欠葉書・荷物運搬）	110,429	197,000	197,000
2-2-2	会議時飲食代	0	10,000	10,000
2-2-3	会議用資料コピー代	80,680	100,000	100,000
2-2-4	会場代（※3）	0	3,000	3,000
2-2-5	地方役員交通費補助	15,500	20,000	20,000
2-2-6	常務理事会会議費	0	14,000	14,000
2-3	支部委員会費	14,249	50,000	50,000
2-3-1	支部委員会交通費	0	60,000	60,000
2-3-2	支部長会会場代	0	60,000	60,000
2-4	事務局職員給料	0	0	
2-5	事務局職員交通費	987,275	1,000,000	1,000,000
2-6	ホームページ運営管理費	188,625	240,000	240,000
2-7	渉外慶弔祝賀費	199,562	125,000	146,000
2-7-1	渉外費（関係団体賛助金、接待費）	157,761	200,000	200,000
2-7-2	慶弔費	101,561	60,000	60,000
2-7-2	支部活動お祝い金	26,200	60,000	60,000
2-8	本部役員地方出張旅費交通費	30,000	80,000	80,000
2-9	通信費	80,950	100,000	100,000
2-9-1	郵便・配送費	389,833	220,000	385,000
2-9-2	電話料	302,072	150,000	300,000
2-10	事務用品・消耗品費	87,761	70,000	85,000
2-11	宣伝広告費	279,759	300,000	300,000
2-12	光熱費	86,400	110,000	110,000
2-13	賃借料	51,194	55,000	55,000
2-13-1	事務所家賃	1,102,116	1,102,400	1,179,259
2-13-1	コピー機リース料	925,716	926,000	1,002,859
2-14	租税公課費（※4）	176,400	176,400	176,400
2-15	銀行手数料等	0	70,000	70,000
2-16	顧問料	73,332	90,000	90,000
	会計事務所顧問料	228,800	284,000	133,000
	法律事務所顧問料	164,000	164,000	
2-17	諸雑費	64,800	120,000	
		10,130	10,000	10,000
事業活動支出計		8,810,551	9,478,000	12,140,259
事業活動収支差額				-415,259
当期収支差額				
前期繰越収支差額				
次期繰越収支差額				

前石川県支部長の武部外喜寛氏が4月10日、近畿支部長名誉会員の山田昌次氏が5月2日逝去されました。謹んでお悔やみを申し上げます。

武部外喜寛さんの温もりを偲ぶ

龍居　竹之介

まだ、つい先日のことのように思えてならないが、向川さんに石川の支部長というお役目をバトンタッチして「肩の荷をおろしました」といとも軽やかな口調で語っていた武部外喜寛さんが、私にとっては全く突然、黄泉路（よみじ）に旅立たれてしまった。

4月10日に亡くなったと知らせてくれた千葉の加藤新一郎支部長に「まさか！」といって絶句した。気を取り直して武部夫人に電話すると「穏やかな顔でございました」とお別れのご様子をお聞かせ下さった。涙が出た。

最後に顔を合わせたのは2月5日。野田市の上花輪歴史館の玄関前に大ぶりな松を植え込んだ日であった。千葉県支部の岩崎隆さんの車に同乗して拙宅に迎えに見えた武部さんは体調が悪いといいながら、いつもと同じ張りのある声で、愚妻との話もよく弾んでいた。

野田の現場ではさらに力強く、かつ緻密に作業を進められて無事終了、再び3人で東京へUターン、武部さん、岩崎さんは共に麻布にお孫さんがおられるので話は明るく、特に能の稽古に力を込めるお孫さんとの共演の夢を語る面持ちに、病気療養中の感じなどなく、むしろこの日を心待ちされながら入院加療のため、立ち会われなかった高梨館長を気づかわれていた印象の方が強く、「武ちゃん優しいな」と思わされたことである。

翌日、私は京都へ日帰り出張のため乗った新幹線車中で貧血と頭痛に襲われ、引っ返してそのまま緊急入院、どこかで武部さんに前日のお礼をと思っていた目論見がはずれた。それがいまでも心残りでならない。

自身の支部の面倒だけでなく、他支部の研修や、作庭材料調達の要請には全身全霊で応えたり、商売抜きで県の公園関係の幹部と率直な意見の交換をするなど、その行動は常に真摯だった。世阿弥著『能作書』には能は種を知り、作り、書くことが大事とある。ならば武部さんの庭は、豊富な知識、綿密な技法、空間への大胆な描法が生んだものか。加賀からまた一人お能を嗜む庭の匠が消えた。いや旅僧の姿でいま橋掛かりの松の間を本舞台に進まれているかも。合掌してお見送りしたい。

（名誉会長）

親しんだ能登の赤松の前での武部外喜寛氏

山田昌次大人の面影のあれこれ

龍居　竹之介

6月の半ば、私は秋田市内のとある小料理屋で従兄弟の佐々木光と久々に杯を酌み交わした。「花豊の山田昌次さんが5月2日に亡くなってね」というとびっくりして「会社は？」と聞く。「もう息子さんの拓広さんがちゃんと後を継がれて頑張っているから」と答えると「よかった」という表情で頷いた。

京都大学を出て付属の木材研究所所長を務めた佐々木は、昌次さんの兄さんの古くからの仲間なので、色々な思い出が頭をよぎったようであった。私は私で大分前、函館で開かれた文化財庭園の会議のとき、「浅虫温泉が楽しかった」だったか「浅虫で一寸休みます」であったか、にこやかに話された山田ご夫妻の睦まじく楽しげな表情が頭の中を駆けめぐっていた。北の大地に遊学された方とはいえ京都に縁遠い土地で偲ぶというのは不思議だが、昔から〈大人の風格〉を持たれた山田さんのことだから、不思議はないとも思えた。

日本庭園協会が京都に支部をおいたのは戦時中のことで、発会したものの、有名無実であった。近年、新たに支部制度を始めて再稼働してからは、その実務は山田さんと拓広さんに頼りきってきた。三橋一夫理事をリーダーにする国際活動の面でも大きく寄与して下さって、今に至っている。特に京都で国際日本庭園シンポジウムが開けたのも、山田さんあってであることというまでもない。

仕事の事でもずいぶんお力をお貸

2004年の国際日本庭園シンポジウムで説明する上杉武夫先生（左）と山田昌次氏（右）

し願った。長く繋がりを持たれる西本願寺の滴翠園の修復はもちろんだが、その他に平安郷整備計画、あるいは岡山後楽園外苑整備計画などにも、ご多忙な時間を割いて足を運んで下さった。そして柔らかな口調ながら鋭く的確なご意見を示され、得るところは大であった。

その昔から京の島原遊廓前には、出口の柳と呼ぶ柳があり、同名の名高い地唄や舞もある。その柳と周辺の再整備を、相談したこともあった。結局、話は不調に終わったが、山田さんから南座の素人歌舞伎にまつわる思い出話が飛び出して、それが一番の収穫だったのは面白かった。年齢は私より下だが、山田さんはやはり大人だと、その時しきりに思わされた。永遠の幕間の中でゆっくり、ゆっくりお休みください。

（名誉会長）

鑑賞研究委員会

龍居竹之介氏講演会「日本庭園から学ぶ日本人の心と癒し ―今こそ求められるジャパノロジー」要約

藤枝 修子

4月17日（日）午後、東京都文京区目白台で表記の講演会が開催されました。最近は多くの外国人が日本庭園で楽しんでいる光景が目立つようになり、今後に向けた展開も込めた催しでした。龍居氏の父松之助氏は築地に住み、近世史の研究家でした。子どものときから日本庭園とは何かを考えたこともなく、家族は芝居見物が好きで、歌舞伎もよく観ました。昨日観た梅津流家元梅津貴昶（うめづ たかあき）氏の演ずる「娘道成寺」は、豪華さをすべてそぎ落とした紋付・袴で踊る素踊りであり癒される内容だったと感想を述べられました。（※後日調べてみましたら梅津流は発足してまだ20年ほどの歴史ですが氏の振り付け発表作品は400曲にも及び体の中に蓄えられた芸と、古典を見つめてきた目で、今という時代を見つめ、日本舞踊の創造を深めたいと活動されています。）庭も同じで、人に癒しを与えられる庭をつくることが重要で、今日伝えたいことはこのことです。

次いで、庭と人との繋がりはさまざまで、江戸時代は武家、特に大名、各宗派寺院、豪農、豪商の手によって各地で発達したものもあり、また明治時代以後の庭は、旧大名、新興の華族、財閥などの個人の邸宅や別荘として発達しました。例えば、六義園や小石川後楽園などのように、将軍の意向によって当主やオーナーが代わるなどの事例を伺いました。さらに、加賀藩主前田利常の大津屋敷の庭、室町時代の連歌師宗長の静岡の家、瀧沢馬琴や、山縣有朋が京都無鄰庵の庭を小川治兵衛（植治）につくらせたときの状況などを伺いました。

熱心に語ってくださった龍居名誉会長

さらに、奈良以前のようす、風土への思いの強さなどの歴史的な話題が取り上げられ、庭の揺籃期については、北九州からの縄文晩期の織物器具の出土により織物は弥生時代からとの説、三重県の城之越遺跡が4世紀頃との推定など、今後の新発見なども期待されます。古代の植物と自然と人、そして日本庭園について、魏志倭人伝では2世紀の日本について2千字程度で紹介されました。日本の庭は自然主義と言われ、歴史的にもこの傾向が強く、そこには四季の存在が社会や人の生活に影響を与えるが、この変化に即した庭自体が日本庭園とのことです。

最後に、藤原京、平城京、長岡京、平安京など天皇の住まいと共に都が造られたこと、寝殿造建築のこと、築山山水図、狩猟の庭、中潜の庭と路地庭の図の説明、そして、江戸時代の浅草寺奥山と根岸の里の景から文化の中心は町人・商家に移ったことなど、熱の籠もった講演を伺いました。

出席者は53名。簡単な茶話会の後、散会しました。

（理事　鑑賞研究委員長）

国際活動委員会

フロリダでの国際会議に参加して

三橋 一夫

2年毎に開催される北米日本庭園協会（NAJGA）の国際会議は、2012年のデンバー、2014年のシカゴに続いて今年度はフロリダ州パームビーチにあるモリカミパークの美術館と日本庭園に於いて3月7日、8日に亘って開かれた。モリカミミュージアムは私達にとってなじみ深いポートランドの日本庭園、シカゴ郊外のアンダーソンガーデンなど多数の日本庭園をアメリカ国内で作っている栗栖宝一氏の作品であることで知られており、このモリカミでの作品は氏の造園家としての地位を不動のものとした。モリカミパークは明治39年移民として入植した森上助次氏が事業で成功して得た広大な200エーカー（約245000坪）の土地を郡に寄贈し、整備されて公園となったのが1977年、その内の16エーカー（約19600坪　小石川後楽園とほぼ同じ）が栗栖氏の設計監理によって、日本庭園としてオープンしたのが2001年であった。美術館や庭園の企画、催事に伴って来園者は年間10万人以上を数える人気のスポットとなっている。今回のテーマは「より健康的な世界へ　快適さと心身の改革の場としての日本庭園」とされ、講演の大半が日本庭園に内在するヒーリング、即ち「癒し」の効能、効果についていろいろな切口から語られた、過去2回の大会に参加して感じた事は外国の人達が日本庭園に対して気持の安らぎを強く求めているという点である。日本国内で日本人が庭を見てホッとする気分と同じなのだろうが、アメリカでは庭園美を観賞するに留まらず、庭を歩み、時には四阿に座って周囲の空気を感じ、思索することを通して、現在ある自分をプラスに変えてゆく場であると庭をとらえているようだ。特に今回、モリカミが会場と決められた要因の一つであろうと思われる独自のヒーリングガーデンウオークプログラムに注目した。ガイドブックにはガイダンスが具体的に示されており、現在の悲しみ、怒り、絶望、淋しさなどの悩みを6週間のマニュアルを実施することによって、より大きな喜びと幸せに変えていく、という計画である。モリカミ日本庭園を散策するルートの中に6つのパワースポットが決められており、これらの場所で深く呼吸をし、まわりの景色を眺めながら、今の自分より快適な状況をイメージし、それを言葉にして行動を続けていくことにより、次第に心の内から良い変化が見られるようになる。と指導されている。現代社会の中で自分自身を振り返った時に、わが身を映す場として日本庭園の持つヒーリングガーデンとセラピューティックガーデン（心身の治療の庭）の特質を強調したかった。と栗栖氏は語っている。まさにこのモリカミの日本庭園は政治、財政、気候面の色々なハードルをクリアーして、氏のコンセプトが結実した形となった。外国の日本庭園では茶道、生花、習字などに代表される日本文化を紹介する媒体として利用されるケースが多いのだが日本国内の庭でも、このような視点から庭を見る、一つのカテゴリーとして考えてはいかがであろうか。モリカミに於けるプログラムはこの庭を愛する人達が自分達の癒しの体験を通して作られたのだろうと考える。このフロリダの地の日本庭園に

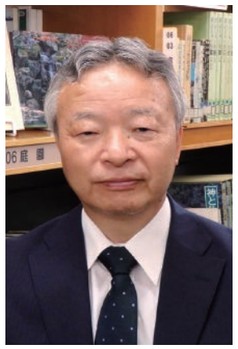
2016年大会の様々なカット

モリカミミュージアム前に集う海外の日本庭園関係者たち

は作者の人間性が庭の各所に滲み出て、見る人をして安らぎをおぼえ、癒された結果であることは確かであろう。このような概念（コンセプト）は今後の我々の庭造りの課題とも言える要点であると思われる。更に今大会の重要な討議事項は交換教育のシステムを作ることで、若手の造園家達が互いの国に滞在して学び合う規約をＮＡＪＧＡの委員達と具体的に話し合った。数年の内にこの計画を実施する方向で動いている。日本庭園を通じ国際的な交流が一層さかんになると共に、日本庭園に対する考え方も更に深く、多様な面が展開しつつあるように思う。今回もアメリカ、カナダ、イギリス、オーストラリア、日本から約１５０人の人達が集って学び、親交を深めた。変化しつつある海外の動向を今後も機会ある毎にお知らせしたいと考えている。

（理事　国際活動委員長）

◎高橋 康夫 新会長のプロフィール



昭和48年茨城大学農学部を卒業後、東京都杉並区役所に勤務。

翌年、東京都建設局公園緑地部に移り、東京都の公園行政（都市公園・庭園・霊園等）に永らく関与。平成21年に東京都建設局公園緑地部公園建設課長に就任し公園整備予算、公園事業執行、都立庭園整備等に携わる。平成23年、東京都を退職し公益財団法人東京都公園協会に入社。神代植物公園園長を経て、現在は日比谷公園内にある緑と水の市民カレッジ事務局長。

公園や庭園管理に関する著作（小石川後楽園）や文化財庭園に関する論文、花や緑に関して分かりやすく解説した著書がある。また、緑に関する講演や講義の講師を務めている。

本協会の創立メンバーである井下清氏は東京都の大先輩でもあり、深く尊敬しているとのこと。2年後、創立１００周年を迎える本協会の牽引車として新会長に大きな期待が寄せられています。

平成28年度

支部活動報告

愛知県支部

愛知県支部 第8回 実践！石積み講座（基礎編／中級編）

①平成28年4月28日～29日
②平成28年6月18日～19日

2度目の参加で感じた事

木目田 裕一

日本庭園協会愛知県支部の「第8回石積み講座」には前回1月の講座に続いての参加です。

現代の狭小な住宅の庭での石積みは、立体的に庭を構成する景点になるかと思います。

石が積みあがった時の表情やライトアップされた時の印象、また雨に濡れた時の色つやには、自然素材ならではの魅力があると思います。

今回、1月の講座を終えて自社の現場で実戦して臨む2回目となりましたが、自社現場ではいざ施工に取りかかると石積みの難しさに度々手が止まってしまいました。

29日当日、会場となる常滑は朝からあいにくの雨となっており、合羽と石道具を手に取り、講座の会場に向かいました。会場では、講師の鈴木富幸先生を始め、数名の講師の方、おしゃ楽のスタッフの方々がテントを張り雨対策をされているのをみて、自分も「よし！今日も思い切りやろう」と改めて気持ちが入りました。

まず、石積みの座学から始まりました。ホワイトボードを使っての図解、石積みの施工写真が載っているテキストを使い、講師の方々から理論や理屈を教えて頂き、石道具の実演、石の斫り方と多岐にわたってご指導頂きました。自分は、2回目でもあり前回の問題点や疑問点を質問する貴重な時間となりました。

4月の講座参加者たち

座学の次は、小雨の降る中、実地が始まりました。石は、木曽石と幡豆石から選択して積みます。まず、石積みの1段目となる根石を選び据えていきます。大・中・小のバランス、隣同士の石の肩を合わせる、角石の内勾配、奥に下がり勾配と座学で教えて頂いたポイントを頭で唱えながら石を選び据えていきました。そのうち石を斫るのに夢中になって合羽を脱いでいました。

夜は、鈴木先生を始め講師の方々、おしゃ楽のスタッフの方々、受講生とで夕食を囲みながら石積みに対する思いや、自分たちが置かれている状況、また現代の庭についてと話は尽きる事なく続き、お酒の力も借りて各々熱い胸の内を語らう時間となりました。

2日目、前日の雨が嘘のように晴れ渡り、早い方は7時過ぎから石を積み始めていました。前日同様、座学でのポイントや自分なりの見せ場を考えながらただひたすらに石を触りました。高さ50センチの中に見せ場をと思い、算木積みの角石の2段目に少し長い石を選び据えてみました。自分では良い表情になったと思いましたが、講師の方に見て頂いて石を少し左にずらし修正した時は「ハッ！」と思いました。少しずらしただけでしたが、石の納まりが変わり、より良い表情になったのです。改めて石積みの奥深さに夢中になりました。20名近くの受講生がいて、常に石を叩く音が聞こえていました。それが、手が止まり考え込んでいる自分を奮起させてくれました。しかし残念ながら、天端の石を少し残してしまい完成までは行き着きませんでした。今回は2度目の参加となり、鈴木先生を始め講師の方々から厳しく、より精度の高いご指導を頂き、また各地から来られた受講生との交流と非常に充実した2日間となりました。講師の方々、会場や石を提供して頂いたおしゃ楽のスタッフ、ボランティアの方々本当にありがとうございました。

（正会員　東京都支部）

石積み、もっとうまくなりたい！

糸原　崇

私は今まで石積みの経験も少なく、正直なんとなくという感じで作業をしてきましたが、それではだめだと考え、実地も理論も学べるこの講座に参加いたしました。

いつも早くに定員が一杯になってしまうのですが、今回は欠員が出て運よく参加できました。1日目の座学で根石の据え方、石のバランス、特に大きい石をどう配置するか、品の字を基本に積んでいくことなどを分かりやすく説明していただきました。次に石積みをイメージしてスケッチを描くことになりましたが、想像以上に難しく、何度も何度も描き直し苦労しました。スケッチはだめでも実践になれば、ある程度はできるだろうと思っていましたが根石1個を据えるにも手間取ってしまいました。事前のスケッチをする過程でイメージが固まりスムーズに実践できるのだと痛感しました。何とか根石を据えましたが、2日目は天端まで完成させたいと焦って作業していると講師の方々から1石1石丁寧に積むことが大切だと注意されました。せっかく学ぶために来ているのだから、いい加減な気持ちでは意味がないと気づき、雨が降り始めたのですが合羽も着ずに夢中で積みました。天端まで積み終えたのですが納得のいく出来ではありませんでした。また何度か参加して少しでも納得のいく石積みができるようになりたいと思いました。鈴木富幸講師はじめ講師の方々、スタッフの方々には大変お世話になりました。他の参加者の方たちとも仲良くなれて大変有意義な2日間をありがとうございました。

（正会員　島根県支部）

6月の講座参加者たち

支部だより ㉒

島根県支部

岡 和生

去る3月5日、本部から金子直作会長、廣瀬慶寛常務理事に御出席いただき、日本庭園協会島根県支部が発足しました。この度、島根県支部長をさせて頂く事になりました岡和生と申します。支部会員一同これから、どうぞ宜しくお願い致します。

昨年の鳥取講座がきっかけで、僅か4ヶ月で発足したことになります。思い立ったが吉日ですが、支部会員の思いがそれほど強かったからではないかと思っています。なかなかたいへんでしたが…。発足した事は島根県にとって、支部会員にとって素晴らしい事です。他県の諸先輩方にお会いしたり、話をきいたり、技に直接触れる事ができるのですから。支部のつながりは、人のつながり。自分次第でどんどんつながり、広がっていくでしょう。

千年のムクノキの前に立つ創立会員たち

講演する廣瀬慶寛氏

設立総会でも言いましたが、「桃李不言下自成蹊」という言葉があります。桃や李は何も言わないけれど、その美しい花や実に惹かれて人が集まり、その下には自然と道が出来るとの意です。つまり、意識を高く持ち、本物を目指し、いいものを、面白い庭づくりをしていれば、自然と人が集まり道が出来ると思います。それはまさに日本庭園協会であると思います。これから、島根県支部の道がどんな道になるのか楽しみです。

今、島根県に限らず便利な道具や、技術になり、古き良きもの、伝統的な技術や道具や礼儀作法が失われてきていると思います。だから各々が技術の修得・向上のために日々、切磋琢磨することが大事だと思っています。

出雲大社に命主社というお宮があります。そこには、樹齢千年のムクノキがあります。すごい根張りをしていて長い間いろんな困難にも耐えたことが伝わってくる木です。島根県支部もこの木を見習って『忍耐強い人間を育てる』ことがテーマです。大変なテーマですが頑張っていこうと思います。

発足式の後懇親会で話が弾む

また、島根県支部の今年度の大きな事業として、昨年の鳥取県支部の講座を引き継いで、島根県支部・本部共催講座を10月末に計画しています。安来・ハガネ・たたら、みたいな感じで今のところ考えています。時期は神々の集まる神在月です。是非、島根へきてくださいませ。庭の神様が集まって下さるのを支部会員一同楽しみにしております。

（評議員　島根県支部長）

19番目の支部として発足する

この若者に注目 ③

取材・小沼 康子

山口県支部……田中 耕太郎 さん（32）

（有）松筑園　山口県下関市出身

◎プロフィール

出身校：大阪芸術大学芸術学部
　　環境計画学科
家族：両親と弟の４人家族
趣味：読書
心がけていること：良い庭をつくるために、自分自身が楽しく豊かに暮らすこと

◎支部長から一言

親子三代に亘り下関に確固たる基盤を築いて活躍する田中家の長男耕太郎君は、柔和な顔立ちからは想像出来ない強い信念と向上心を併せ持つ好青年で、庭に真摯に向き合い、お客様の信頼を得ています。各地の講座や研修会には積極的に参加し、若い仲間と勉強会も行っています。

昨年出版の「百人百庭」に作品が掲載され、雑誌「庭ＮＩＷＡ」にも何度か登場しています。

父親であり師匠である耕二氏の薫陶を受け庭造りに精進し、感性、技術、技能の何れかで父を追い越す時が来れば、様々な受賞の栄冠が山口県支部に再びもたらされると確信しています。

将来性と無限の可能性を感じる我が山口県支部の次世代のホープ田中耕太郎君を紹介します。

山口県支部長　殿井 正敏（関庭）

●自分自身を越える

「庭をつくってよかった。」そう思ってもらうのは最低限の責任だ。その為に色々な事を考え、様々な過程を踏む。まず、出来ないとは言わないこと。施主の方からの要望は様々であり、それをしてしまうと庭は良くならないと思えること、コスト面、植物は育たない等の、受け入れがたい要望は無数にあり、それを〝こだわり〟の名のもとに聞き入れないという選択は難しくない。またそのような方法を辿り、自身の限定の範囲で、ある程度良い庭をつくることも困難な事ではないと思うが、出来上がった庭の管理等を含めた今後の行く末を考えた場合、施主の方の思いを汲むことは重要である。また、自分自身を越えてゆく唯一の方法だと考える。その上で、守られていく良い庭をつくること。

●施主の思いに寄り添う

実際の計画面で言えば、まず文章を書く。発想、アイディアとはとても偶発的で運任せにならざるを得ないし、いつ枯渇してもおかしくないものだが、発想に至るまでのプロセスは無限にあると思う。その中で「文章」を選んでいる理由は、それが施主の思いに最も寄り添える方法であり、また、その中で生まれる発想は、おもしろ至上主義に支配されない、アイディアが単なるアイディアに終始しないものとなるからである。それらをもとに、出来る限り正確に作図、スケッチを落とし込む。

以上を念頭に施工に進めていく。途中段階でこれまでの過程に反するようなプランが生まれ、それが言葉で言い表せない場合、理由以上の何かを感じてしまうことも時にある。それがどうしてもこだわりたい事なのか、単に囚われているだけなのか、そういった判別を踏まえたうえで、何度検討しても心に引っ掛かるようであれば、それはやるべきであり、実現できるよう整理する。

●都市に資する

また都市全体を通して植物というもののあり方、特性を考えた時、そのひとつに、唯一越境の許された存在であるということがあると思う。植栽の際、枝先数センチだけでも越境する。そのボリュームは施主の方の理解あってのことではあるが、それを提案し続けることは、都市への寄与となりうると思う。直線できれいに区切られた都市の中で行われる少しの越境、少し落葉を許し合う。それは、家と家、建物と街とをつなぐことから始まる人と人との理解であり、この仕事を通して、都市へ資するという意味で一つの方法であると考えている。

（山口県支部会員　田中 耕太郎）

各支部より、頑張っている若者の推薦をお待ちしています。

編集委員コラム

木になる葉なし 4

小沼 康子

旧白洲邸 武相荘
―白洲正子の庭―

瓦屋根の正門と柿の新緑を楽しみに、5月の連休に訪れた。新芽を過ぎて葉の色は深まっていたが、周辺の緑と一体となり、期待通り初夏の景だった。少々驚いたのは、来訪者が多いこと。聞けば昨年「レストラン&カフェ武相荘」がオープンして以来、いっそう人気が高まったという。

瓦屋根の正門と新緑の柿

「武相荘」は、ご存じ白洲次郎、正子夫婦が、半世紀近く共に暮らした住まい。二人が暮らしたそのままを記念館、資料館として公開している。茅葺きの主屋には、二人が愛用した品々が展示され、夫婦のこだわりやセンス、美意識が見て取れる。

最も興味を引かれるのは、正子の書斎。「白洲正子自伝」によれば、二人が住む前、「何代もの老人たちが、皆この部屋で命を終えたかと思うと、ある種の感慨を覚えずにはいられない。私にとっては何か「結界」のような感じがして、書斎に入る度に引締まる思いがする。」とある。6畳間の書斎に入ると、机に向う正子の後姿が見えるようだ。表情は見えないが、窓外の斜面に反射した光が正子の顔を照らしている。北窓から差し込む光はやわらかく、ひんやりとした空気は頭脳を明瞭にする。そして、苔むした石垣と斜面の緑で思索の疲れを癒す。そんな姿を想像して楽しくなった。

北窓の景色こそが「庭」なのではと思いつつ、さて、表の庭に出てみよう。主屋の前にはシラカシとツバキの大木。正面には、向う下がりの斜面地に竹林。西側の山手には雑木林が続いている。いわゆる庭という庭はない。もとは農家であったその佇まいと丘陵地の自然がそのまま残っている。正子の現状を変えたくないというこだわりを受け継ぎ、武相荘とそれを取りまく環境は、今もほとんど変わっていないという。

この庭は正子の自然観が強く影響していると思える。正子の自然観は、幼いころ過ごした御殿場の別荘での暮らしで育まれたと自伝にある。その別荘は、富士の裾野にあった。箱根山を「借景というより庭のうちに取りこんであるように見えた。ゆるい傾斜で降りて行く先には池があり、池から流れる川には土橋がかかり、茅葺きのあずま屋の向うは雑木林になって、自然に箱根山へとつながって行く。そこは庭というより、でき得るかぎり自然の風景に即して造られていた。」というその庭は、母、樺山常子の「構想によったものを、高橋箒庵が庭師を駆使して実現したもの」であった。正子は御殿場の庭を、「庭であって庭でないような美しさ」と表現している。その美しさを、武相荘の庭でも味わうことができる。

主屋とツバキ（白侘助）

近年、井戸水を利用した流れが整備されるなど少しずつ変わっているところもあるようだが、次郎、正子夫婦が愛した「自然」や「庭であって庭でないよう」な「庭」は十分に愉しめる。つくり込むことなくありのままの環境に四季折々に草花が咲く、野趣にあふれた庭。また訪れてみよう。次は柿の葉が色づくころに。

小沼康子（広報委員）

住所：東京都町田市能ヶ谷町
小田急線鶴川駅北口より徒歩15分）
「武相荘」の名は、かつてここが、武蔵国と相模国の境にあったことに由来する。